

COC+単位互換科目の講義概要（シラバス）

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島市立大学		科目開講 キャンパス	広島市立大学		
2. 科目名	地域再生論			配当年次	2年以上	
				受入学年	2～4年	
3. 担当教員名	金谷信子 ほか					
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	2019年10月7日（月）～2020年1月27日（月） 月曜日4限 14：40～16：10					
個別開講日	1回目 10/7	2回目 10/14	3回目 10/21	4回目 10/28	5回目 11/6	6回目 11/11
	7回目 11/18	8回目 11/25	9回目 12/2	10回目 12/9	11回目 12/16	12回目 12/23
	13回目 1/6	14回目 1/20	15回目 1/27	16回目 /	試験日 /	/
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 () 2. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 (総授業定員)	10人 ()		9. 定員超過時の 選考方法	抽選		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>地方消滅という危機感が高まるなかで、今、全国的に地方創生戦略が展開されている。しかし、地方の疲弊は、高度成長期から深刻化しており、地域再生は、雇用・経済、交通、住宅、教育、文化、健康、福祉など様々な課題が絡み合う難題である。昨今では、人々の間に田園回帰や経済成長志向の見直しという新しい動きも見られるが、試行錯誤が続いているのが現実だ。</p> <p>このため本講義では、地方格差を拡大させてきた社会・経済環境の変遷と今日の諸課題の実態について学んだ上で、地域再生のためのアイデアについて、グローバルな視点を交えながら考え、さらに地域が自ら考え行動していくことを目指して、持続可能な地域再生の方策のあり方について展望していく。</p> <p>◆問題提起—人口変動の時代</p> <p>①ガイダンス 地域再生の背景—超少子高齢化とグローバルな都市化（金谷） ②地域再生は何をめざし誰が担うのか—ソーシャル・キャピタルという視点（金谷） ③郊外団地のコミュニティ再生（金谷・広島市） ④外国人住民との共生（金谷） ⑤「居住地」としての地域の価値を測る：地域住民としてのアイデンティティ効用調査（山根）</p> <p>◆経済活性化—広島への観光の可能性</p> <p>⑥観光地経営（井手吉） ⑦地産品の活用（井手吉） ⑧「観光地」としての地域の価値を測る：しまなみ海道観光需要調査（山根） ⑨日本酒と地域文化の共進化関係を解明する（山根）</p> <p>◆チャレンジの最前線</p> <p>⑩海士町の島おこし①：生き残るための10の戦略（目黒） ⑪海士町の島おこし②：Iターン陶芸家の勇木史記さんと語る（目黒） ⑫海士町の島おこし③：聞き書きと対話から分かること（目黒） ⑬開発の「万能薬」としての観光？：アフリカの事例から（目黒）</p> <p>◆まとめ</p> <p>⑭地域再生は誰のため？ 地域振興政策の系譜 競争 vs. 再分配（金谷） ⑮まとめ（全員）</p>					
11. 試験・評価方法	レポート					
12. 別途負担費用	なし					
13. その他特記事項	なし					